

令和2年度 第2回 香川県公共事業評価委員会 議事録

1. 日 時：令和2年12月15日（火） 13時30分～17時00分

2. 場 所：香川県社会福祉総合センター 7階 第1中会議室

3. 出席者：委員（敬称略）

委員長 井原 健雄（香川大学名誉教授）

副委員長 白木 渡（香川大学名誉教授）

委員 池田 弘子（(株)人間科学研究所所長）

大谷 誠一（(一社)香川経済同友会専務理事）

角道 弘文（香川大学創造工学部教授）

佐藤 好美（佐藤好美建築工房主宰）

末永 慶寛（香川大学創造工学部教授）

（委員7名全員出席）

4. 議 事

(1) 事後評価対象計画

下記における社会資本総合整備計画等、17の計画について、県や市町の事業主体が自ら行った事後評価の妥当性を審議した。

- ①高速道路 IC 等へのアクセス向上による地域活性化支援 [香川県]
- ②総合的な浸水対策の推進(防災・安全)緊急対策 [香川県]
- ③総合的な土砂災害対策の推進(防災・安全)(重点) [香川県]
- ④土砂災害防止法に基づく基礎調査の推進(防災・安全) [香川県]
- ⑤香川県沿岸地域における地震・津波に強い海岸づくり(防災・安全) [香川県]
- ⑥坂出市における防災・減災対策の推進(防災・安全) [坂出市]
- ⑦安全で安心な都市公園づくり(防災・安全) [高松市]
- ⑧瀬戸内海の水環境を保全する安全・安心な地域づくり [香川県他]
- ⑨南海トラフ巨大地震に備えた下水道施設の地震対策の推進 [香川県]
- ⑩丸亀市におけるセンター再構築による安全安心な下水道づくり [丸亀市]
- ⑪豊かな水環境とともに創る住み良いまちづくり [三木町]
- ⑫香川県における安全・安心・快適な住まいづくり、まちづくりの実現(第2期) [香川県他]
- ⑬香川県における住宅・建築物の安全性の向上(第2期)(防災・安全) [香川県他]
- ⑭高松市における市営住宅等の住環境整備(第2期) [高松市]
- ⑮香川の森林を守り育て活かすプラン [香川県]
- ⑯さぬきの土と水と農村づくりプラン(Ⅱ期) [香川県]
- ⑰香川県三豊海域における水域環境保全と水産資源の持続・増大のための漁場整備計画 [香川県]

(2) 新規事業採択時評価対象事業

- ①事業間連携砂防事業（塚原川）
- ②事業間連携砂防事業（枇杷の木谷川）
- ③事業間連携砂防事業（西川）
- ④事業間連携砂防事業（宮の尾川）
- ⑤観音寺スマートインターチェンジ（仮称）アクセス道路整備事業

(3) 事業別審議結果

【事後評価】

各計画の事業効果の発現状況として、全ての計画について「一定の効果があつた」と事業主体が評価したこと、また、12の計画について事業を「継続する」という今後の方針に対し、「概ね妥当である」との意見を付す。委員からの各計画における主な意見は、以下のとおり。

- ・道路関係のインフラの整備効果について、本計画の評価とは別に、分かりやすい評価手法を今後検討されたい。（事後評価①）
- ・下水道整備について住民に関心をもってもらえることが重要であり、事業の効果を顕在化するよう努められたい。（事後評価⑧）
- ・今回整備された施設について、まちづくりという点では長期的に利用することで効果が発揮されると考えられることから、引き続き行う計画においては、今後も継続的な目標・目的をもって取組んでいただきたい。（事後評価⑩）
- ・個別の計画に事業対象戸数が記載され、進捗率は事業費ベースになっている一方で、目標達成に関する指標については個々の棟数等の単位となっており、これらの関連性がわかりづらいので、今後このような問題点を踏まえたうえで、できるだけわかりやすい形で計画づくりを行うよう努められたい。
(事後評価⑫⑬)
- ・目標に記載されている森林の有する多面的機能という点について、県民の理解が進むよう、わかりやすい計画づくりに努められたい。（事後評価⑮）
- ・漁獲だけではなく、事業の効果を適切に評価できるような手法も、今後、取り入れていくことを考慮されたい。（事後評価⑰）

【新規事業採択時評価】

- 1) 委員会の意見：事業の実施
- 2) 委員会での委員の意見（概要）

全ての事業の必要性について確認した。新規事業採択時評価⑤については、医療や災害等を含めた広い分野における視野をもって事業を進められたいとの意見があつた。

(4) その他

次回の委員会では、第1回委員会にて選定した再評価事業について、現地調査及び詳細審議を実施する。